



平成19年10月19日

各 位

会社名：図書印刷株式会社

(コード：7913 東証第一部)

代表者名：代表取締役社長 沖津 仁彦

問合せ先：常務取締役経理本部長 近江屋 喬

(TEL：03 - 3473 - 7330)

業績予想の修正に関するお知らせ

平成19年5月11日の決算発表時に公表しました平成20年3月期(平成19年4月1日～平成20年3月31日)の中間期及び通期の業績予想を、最近の業績動向を踏まえ、下記のとおり修正いたしましたのでお知らせします。

記

1. 連結業績予想の修正

(1) 平成20年3月期中間連結業績予想の修正(平成19年4月1日～平成19年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	中間純利益	1株当たり 中間純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	32,650	770	700	240	3.22
今回修正予想(B)	31,200	510	660	300	4.03
増減額(B-A)	1,450	260	40	60	
増減率(%)	4.4	33.8	5.7	25.0	
(参考)前年中間期実績 (平成19年3月中間期)	30,105	586	652	361	5.59

(注)中間連結業績予想の今回修正予想1株当たり中間純利益は、期中平均株式数(74,517,798株)により算定しております。

(2) 平成20年3月期通期連結業績予想の修正(平成19年4月1日～平成20年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	68,700	2,400	2,560	1,330	17.84
今回修正予想(B)	66,000	1,840	2,220	920	11.47
増減額(B-A)	2,700	560	340	410	
増減率(%)	3.9	23.3	13.3	30.8	
(参考)前期実績 (平成19年3月期)	63,384	2,186	1,887	914	14.13

(注)通期連結業績予想の今回修正予想1株当たり当期純利益は、予想期中平均株式数(80,209,660株)により算定しております。

2. 個別業績予想の修正

(1) 平成20年3月期中間個別業績予想の修正(平成19年4月1日～平成19年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	中間純利益	1株当たり 中間純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	32,500	620	800	220	2.95
今回修正予想(B)	31,050	350	740	310	4.16
増減額(B-A)	1,450	270	60	90	
増減率(%)	4.5	43.5	7.5	40.9	
(参考)前年中間期実績 (平成19年3月中間期)	29,978	442	635	376	5.82

(注)中間個別業績予想の今回修正予想1株当たり中間純利益は、期中平均株式数(74,517,798株)により算定しております。

(2) 平成20年3月期通期個別業績予想の修正(平成19年4月1日～平成20年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	68,400	2,000	2,300	1,220	16.37
今回修正予想(B)	65,700	1,430	1,940	940	11.72
増減額(B-A)	2,700	570	360	280	
増減率(%)	3.9	28.5	15.7	23.0	
(参考)前期実績 (平成19年3月期)	63,128	1,693	1,965	789	12.19

(注)通期個別業績予想の今回修正予想1株当たり当期純利益は、予想期中平均株式数(80,209,660株)により算定しております。

3. 修正の理由

(1) 中間連結業績

売上高につきましては、カタログ、チラシ等の主要品種を中心に商業印刷部門の減収が大きく、出版印刷部門も依然として低調な状況が続き、当初の予想を割り込み、1,450百万円(4.4%)の減収となる見込みです。

利益面につきましては、競争激化にともなう受注単価の下落が止まらず、さらには原材料価格の高騰による製造原価の増大で、営業利益は当初予想を260百万円(33.8%)下回る見込みです。また、受取配当金が大幅に増加したこともあり、経常利益は当初予想より40百万円(5.7%)減少しますが、中間純利益は60百万円(25.0%)上回る見込みです。

(2) 中間個別業績

中間個別業績につきましては売上高、利益面とも連結業績とほぼ同様の理由による業績修正であります。

(3) 通期業績

正面得意先である出版業界の現状、受注単価下落の動向、用紙価格値上げの得意先への転嫁状況に加え、原油高騰に伴う諸材料値上がりも予想されるため、上記のとおり修正いたします。

(注)上記の予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後様々な要因により予想と異なる結果となる可能性があります。

以上